

春の全国交通安全運動

六日～十五日まで

この運動の目的は、交通安全思想を広め、正しい交通ルールとマナーで交通事故を防止しようというものです。

今年も、『あぶないよ 車がみえない まがりかど』をスロ―ガンに全国いっせいに展開されます。

運動の重点

- 歩行者、特に子供の事故防止
- 自転車、二輪車の安全利用の促進

○無謀運転の防止、マナーの向上
○シートベルトをしめて、ゆっくり走ろう

また、春は入学シーズンです。今までは送り迎えされていた子供たちが親の手を離れて一人で通学するようになります。

ドライバーのみなさん、「ゆとり」と「ゆずり合い」の精神を持って安全運転に心掛けましょう。



日吉地区だけでこんなに！

あなたのマナーが問われます “ポイ捨て”

日吉小学校全児童による空きカン回収が三月八日から十三日まで通学道路周辺で行われました。最初のうちは一日で百個近く拾う子供もあり、通学道路周辺にはなくなってしまう、通学道路以外にも出かけてゆき空きカンを拾い集めていました。心ないドライバーたちによって投げ捨てられた空きカンは年間百億とも言われ、回収されるのは、わずか四億余り、このままでは日本中空きカンだらけになってしまいます。空きカンは一人一人責任をもって後始末をしましょう。



奉仕活動を行う青年クラブ員

短歌

得心のゆくものなきに書き続く

長き正座に足痺れ来ぬ

竹内 紀葉

早春の和める午後を老一人

先祖の墓を懇に洗ふ

大木静波子

新婚の旅も出来ずに鋤を持ち

三十年過ぎ今日ふたり旅

土屋 好

農継ぐと決意をこめて言い切りし

孫の面輪のかがやきて見ゆ

川野 稔

梢よりなだる丈余の雪しづき

朝日に映えて七色かもす

伊藤 定男

院展の父の遺作を前にして

父に逢うごとと涙こみあぐ

伊藤 鏡子

亡父住みし旧居を残す松林

商社の所有となりて久しき

藤代 敏子